

平成 30 年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：平成 30 年 5 月 30 日（水）午後 7 時～8 時 20 分

場 所：笠間市役所 笠間支所 2F 会議室

出席者：3 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 笠間城周辺の整備について
- 2 空家バンク制度について
- 3 健康歩イントについて
- 4 健康な方への支援について
- 5 人車について

1 笠間城周辺の整備について

【意見等】

かさま歴史交流館井筒屋を中心とした整備で、まちが目に見える形できれいになって嬉しく思っている。ところで、住民の憩いの場であった佐白山ろく公園、笠間城周辺の整備状況はどうなっているか。文化遺産のあるまちに生まれて誇りを感じているが、震災の影響で立入り禁止の箇所があるなどさびしい状況である。保存調査が進んでいるとは思いますが、今後の見通しについて教えてください。

【回答】

これまで、事前調査から含めると 4,5 年程調査を行ってきました。石垣の下に文化財が埋まっていることが想定されましたが、埋蔵物は発見されませんでした。笠間城全体を調査しようとするので 10 年から 15 年かかってしまうので、頂上から半径 400m に絞って調査を行っていて、この調査があと 3 年から 4 年かかります。

国の文化財として指定していただくための取り組みを進めているのですが、指定に必要な基礎調査がこれまでされていなかったもので、時間がかかってもしつかり調査を行っていきたいと考えています。指定されれば、改修費用も国の補助金で対応することができます。

次の世代の話になると思いますが、笠間城の復元まで行ければ良いと思っています。ただし、お城の図面は残っていないので、復元は文化財の対象とはなりません。現在、土地の所有は民間になっていますので、民間の協力を得ながら進めていくことになります。

笠間城は、続日本 100 名城の 1 つになっていて、かさま歴史交流館井筒屋に続日本 100 名城のスタンプラリーがあります。4 月からこれまで数百人の利用があるので、それに近い人数が笠間城を訪れているのではないかと思います。現状の管理は、しっかりやっています。

2 空家バンク制度について

【意見等】

空家は友部地区と笠間地区では笠間地区の方が多いのではないかと。空家バンクは効果があると思っているが、不動産業者を紹介する際、公平に紹介をしているのか。空家バンクを利用した人にだけ、補助金が出るというのはなぜか。

【回答】

古い空家は笠間地区が多いと思いますが、友部地区もアパートがかなり空いてきています。

空家バンク利用の際に、職員が特定の不動産を紹介することはありません。業者の特徴を話しますが、決めるのは貸し手、売り手のみなさんになります。空家バンク制度は、空家を流通させて利活用を図るために作った制度であり、市役所が入ることで今まで活用されなかった空家を拾い出し、活用してもらおうというものなので、民民売買のみで成立したものに補助をすることはできません。

3 健康歩イントについて

【意見等】

健康歩イント事業は、ウォーキングでポイントがたまる事業と思うが、そのポイントを何かに利用できるものなのか。

【回答】

スマホアプリにヘルシーポイントがたまり、そのポイントを笠間市地域ポイントに交換して地場産品や健康グッズと交換できるという制度です。まだ始まったばかりなので、これから進めていきます。

4 健康な方への支援について

【意見等】

自分の健康を自分で管理している方が多い。1年間1回も病院にかからないという方がいる。今は予防医療が重要視されてきているので、国民健康保険を使っていない方にも、ごほうびみたいなものをあげられないか。

【回答】

過去には、国民健康保険を使っていない優良者に記念品をあげていた時期もありました。良いことだと思いますが、対象者がどのくらいいるのかによって報奨品などを何にするのかを検討する必要があります。まず実態として、どのくらい病院にかかっていない人がいるのか調査したいと思います。

これまではいかに制度を充実させるかというのが多かったですが、制度を使わない人への支援もこれからは必要であると考えています。

5 人車について

【意見等】

6月に道の市というイベントを行っているが、道の市としては今回で終わりになる。行幸町でも一緒にイベントを行って来て、陶芸大学校の展示を行った空き店舗にデザイン事務所が入ったなどの効果もあったが、イベントは一過性のものである。

道の市で走らせている「人車」をイベントだけではなく、土日だけでも走らせられるように、道路に軌道の敷設ができないか。笠間でお城が見直されているように、時代の流れに合わないとして無くなっていったものが、今見直されてきている。通年型の観光資源として、目玉になると思う。

【回答】

道路に軌道を埋めることは可能ではあると思いますが、「人車」が今の法律上どのような扱いになるのか、どのような形であれば実現できるのか、色々な課題があると思います。一度調べてみます。

秋の菊まつりの際に、かさま歴史交流館井筒屋で明治 150 年の記念展を行う予定なので、「人車」を井筒屋の前に飾るか、笠間稻荷門前通りを走らせるなども検討してみます。